



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEE '97 5月号

## 未来にのこそう 今の姿を



寄贈品コーナー 「公募写真展の歴史」  
期 間：5月1日から6月1日  
内 容：第1回から第4回までの  
作品を展示します。

昭和61年に第1回の公募写真展が始まりました。この年に、博物館が開館して10周年を迎えました。その記念事業として生まれたのが「公募写真展」です。今年で12年を迎えます。生まれた子供が小学校6年生になります。

この間の平塚市の姿は、昔のままではありません。美術館・総合公園や野球場などの公共施設や民間施設が多く生まれる一方、湘南海岸・鈴川・北金目台地の自然や地域に生きついた風習も変わってきました。このように、時の流れは社会や環境をも変えてしまいます。こうした姿を未来にのこすのも、生きている私たちの役割かと思えます。

博物館でもできるだけ多くの記録写真を取り続けていますが、限界があります。是非、皆様の力添をお願い申し上げます。

なお、6月1日から「第5回公募写真展」の写真募集しますので、多くの方々が応募されることを願います。詳しくは、次号でお知らせいたします。

## 南半球オーストラリアの星空

5月10日～7月13日

今はもう世界中どこに行っても日本人の旅行者を見かけると言いますが、オーストラリアはその中でも人気上昇中なのだそうです。

南半球では、日本とは夏冬が逆になる、低気圧の雲の巻きが逆向きになる（天気図が面白い）等のことはよく知られています。天体はどうでしょうか。

みなみじゅうじ座は小さな中に青い一等星2つと赤い二等星ひとつを含む宝石のような星座で、日本やヨーロッパでは見られないため、南半球の名物ともなっています。なにしろオーストラリアやニュージーランドでは国旗のデザインになっているくらいです。そのほか、大小マゼラン雲や、ケンタウルス座の一等星たちなど、私たちの関心は、やはりまず、北では見られない天体に集まりがちです。

でも、もしかすると、私たちにとっていちばん面白い体験は、星座がみんな逆さまだということかもしれません。それから、太陽や月の運行のちがい。これらは、私たちの日常感覚がいかに狭いものだったか、痛烈に教えてくれます。そしてこれらこそ、私たちが立っている大地、地球が丸いという証拠なのです。

今月のプラネタリウムは、少しリゾート気分で、オーストラリアの世界的な自然遺産エアーズロックを含むウルル・カタジュタ国立公園へ旅しましょう。雄大な自然の中で地球の丸さを実感..できるかな？

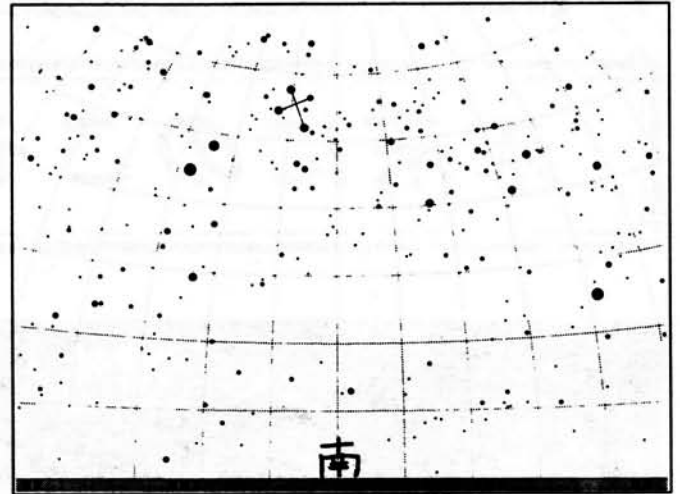
注) 南半球へ旅行予定のある方は絶対に見てください。  
(担当者より)

エアーズロックで見るみなみじゅうじ座 →  
(StellaNavigator Ver.2.0 で作成)

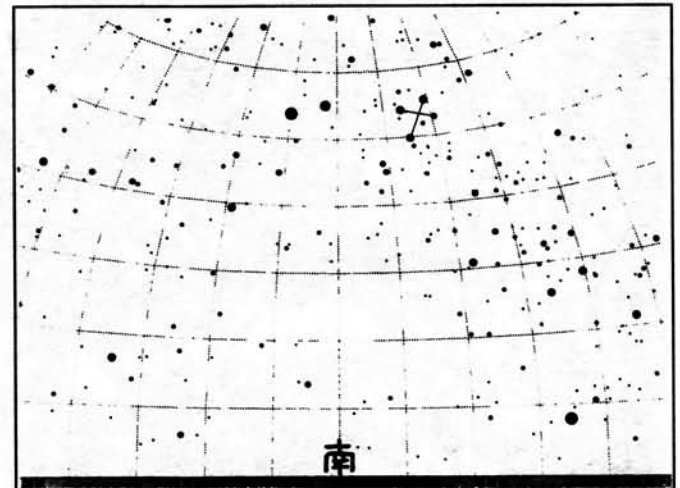
南の星空は天の南極を中心に時計回りに回転します。北斗七星など天の北極付近を見慣れた私たちにはこれも一瞬「え？」と感ずることかもしれません。

オーストラリアは国土が広く、東部 (+10 : 00) 中央部 (+9 : 30) 西部 (+8 : 00) の3つの標準時を採用しています。それでも図の位置と時刻は、地域により1時間くらい違う場合もあるでしょう。また、南のシドニーではこれより10°ほど高く見え、北のケアンズでは10°くらい低くなります。

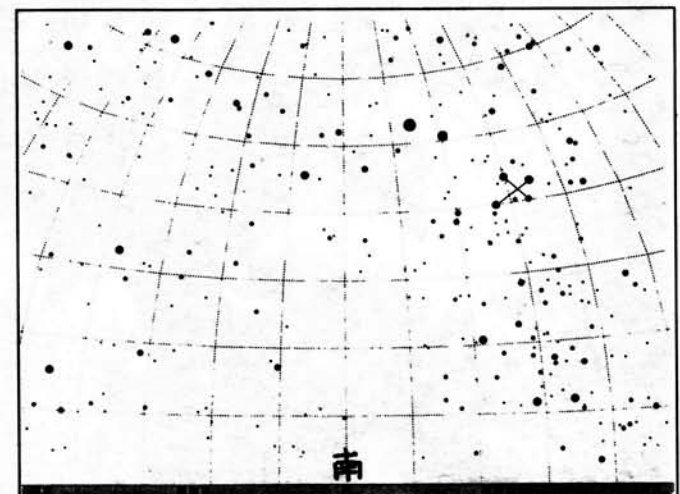
投影日：毎週土曜、日曜（休館日をのぞく）  
開始時刻：11 : 00 14 : 00  
観覧料：100円



5月30日20時



5月30日22時 (6月30日20時)



5月30日24時 (6月30日22時 7月30日20時)

# 新刊図書案内

今年新たに刊行された図書をご案内します。これらの図書は博物館 1 階受付で販売しております。また、郵送をご希望の方は図書の代金と送料を現金書留または郵便為替でお送り下さい。代金、送料については博物館管理係までお問い合わせ下さい。

## 平塚市博物館年報第 20 号

(450円)

- ・平成7年度の活動報告集です。
- ・博物館の活動がこの一冊の中に収められています。また、博物館開館20周年を記念して行われたシンポジウムの集録も載せられています。ぜひご一読を。

## 博物館研究報告

### 自然と文化第 20 号

(800円)

- ・「墓石調査」を生かした15年戦争の学習
- ・公図の考古学
- ・中部更新統、二宮層群より産出したサメの歯化石
- ・1996年の太陽黒点
- ・セエノカミの五輪石

## ガイドブック15

### 漂着物図鑑

(750円)

・砂浜を歩くと、波打ち際にいろいろなものが打ち上がっています。そっと拾い上げて手にとると、一つ一つのものが、自分の来た道を語り始めます。山から流れてきたクルミ、遠い海から運ばれてきた軽石、街からたどり着いたライター……。

心をつらっぼにして、それぞれの物語にじっくり耳を傾けてみようではありませんか。

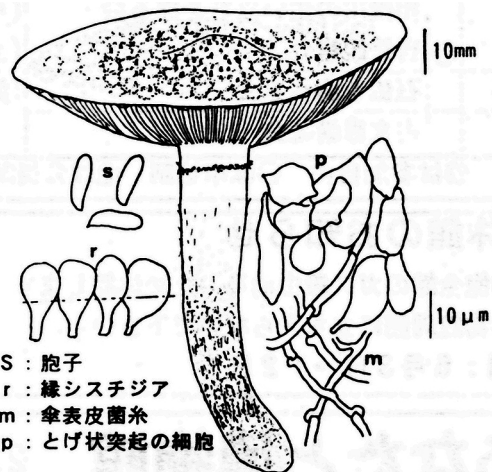


## 平塚市博物館資料46

### キノコ類標本目録

(700円)

・この目録は神奈川キノコの会の協力により大磯町高麗山、平塚市土屋・吉沢などで調査収集された4000点を越える標本をもとにつくられた、全国的にも希な目録です。



S : 胞子  
r : 縁シスチジア  
m : 傘表皮菌糸  
p : とげ状突起の細胞

図25. ココアイロオニタケ(仮称)

# 博物館カレンダー

## 5月の行事予定

8	木	石仏を調べる会	(片倉)
10	土	◎ 漂着物を拾う会 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会	(平塚海岸) (館内) (館内)
11	日	民俗探訪会 地質調査会 ○ みんなで調べよう「ツバメの巣を探そう」	(相模市橋本) (館内) (野外)
14	水	裏打ちの会	(館内)
16	金	◎ 星を見る会「春の星座と月」	(館内)
17	土	地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会「月の観測」	(野外) (館内) (館内)
18	日	古代遺跡を探す会	
21	水	地質調査会	(館内)
22	木	石仏を調べる会	(館内)
24	土	古文書講読会	(館内)
25	日	相模川の生い立ちを探る会	(葉山)
31	土	月末休館日	

## 6月の行事予定

1	日	民俗探訪会	(片倉)
8	日	地質調査会	(野外)
12	木	石仏を調べる会	(館内)
14	土	地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会 ○ こども観察会 古文書講読会 天体観察会「月と惑星」	(館内) (相模川) (館内)
15	日	古代遺跡を探す会	(館内)
18	水	地質調査会 裏打ちの会	(館内)
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	
22	日	相模川の生い立ちを探る会 ○ 自然観察会	(白石沢) (土屋)
26	木	石仏を調べる会	(館内)
28	土	古文書講読会	

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

### ●休館のお知らせ

博物館全館のガス殺虫消毒のため休館します。この間は博物館周囲に立ち入らないで下さい。

期間：6月3日～12日

### ●寄贈品コーナー

#### 「公募写真歴代入選作品展」

博物館が過去に公募した写真の中から歴代の入選作品を展示します。

・会期：5月1日(木)～6月1日(日)

### ●プラネタリウム

#### 「南半球オーストラリアの星空」

オーストラリアの国立公園から見た南半球の星の話をします。

・期間：5月10日(土)～7月13日(日)

・投影日時：土日曜日の午前11時と午後2時

・観覧料：100円

## 参加者募集

### ●第6回こども観察会

#### 「魚をとる鳥を見よう」

期日：6月14日(土)

時間：午前9時～12時

場所：相模川田村付近

内容：魚をえさにしているサギやカワセミの観察。

申込：5月25日までに往復ハガキで。

(小中学生およびその保護者に限る)

### ●漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた生き物や人工物を拾い調べます。

期日：5月10日(土)

時間：午前9時30分～11時

集合：花水川橋平塚側たもと

参加：自由

\*雨天時中止

### ●星を見る会

#### 「月と春の星座を見よう」

春の星座と望遠鏡で月を観察します。

期日：5月16日(金)

時間：午後7時～8時30分

場所：博物館屋上

集合：1階科学教室

参加：自由

\*曇雨天時中止

## あなたと博物館

22巻 2号 通巻243号 発行 平塚市博物館 3000

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949